

平成 28 年度

普天間飛行場代替施設建設事業に係る

事後調査報告書

平成 29 年 9 月

沖縄防衛局

はじめに

本図書は、沖縄県環境影響評価条例第 49 条第 2 項において準用する同条例第 35 条の規定に基づき、平成 28 年度に事後調査を実施し、同条例第 49 条第 2 項において準用する同条例第 36 条に基づき作成した「平成 28 年度 普天間飛行場代替施設建設事業に係る事後調査報告書」です。

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 万分 1 地形図及び 2 万 5 千分 1 地形図を複製したものです。(承認番号 平 29 沖複、第 7 号)
また、本書に掲載した地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

目 次

第 1 章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1-1
1.1 事業者の名称	1-1
1.2 代表者の氏名	1-1
1.3 主たる事務所の所在地	1-1
第 2 章 対象事業の名称、目的及び内容	2-1
2.1 対象事業の名称	2-1
2.2 対象事業の目的	2-1
2.3 対象事業の内容	2-2
2.4 工事計画の概要	2-11
第 3 章 対象事業が実施されるべき区域及びその周囲の概況	3-1
3.1 対象事業に係る環境影響を受ける範囲であると認められる地域	3-1
3.2 対象地域の概況	3-2
第 4 章 対象事業の実施の状況	4-1
4.1 対象事業の実施状況	4-1
4.2 環境保全措置の実施状況	4-3
第 5 章 事後調査の項目及び調査の手法	5-1
5.1 調査項目及び調査時期	5-1
5.2 調査手法	5-4
第 6 章 事後調査の結果の概要	6-1
6.1 水の汚れ	6-1
6.1.1 海水の pH	6-1
6.1.2 栄養塩類、残留塩素	6-3
6.2 土砂による水の濁り（海域）	6-6
6.3 地下水の水質	6-12
6.4 ウミガメ類	6-14
6.4.1 ウミガメ類の工事海域への来遊（接近）状況	6-14
6.5 サンゴ類	6-15
6.5.1 サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等	6-15

6.6	海藻草類	6-31
6.6.1	海藻草類の生育被度、生育状況	6-31
6.7	ジュゴン	6-37
6.7.1	ジュゴンの工事海域への来遊（接近）状況	6-37
6.7.2	嘉陽周辺海域及び他の生息海域におけるジュゴンの生息状況	6-38
6.8	海域生物（トカゲハゼ）	6-43
6.9	陸域動物（陸生動物）	6-44
6.9.1	鳥類の営巣状況	6-44
6.10	陸域生態系(基盤環境、生態系の機能と構造)	6-45
6.10.1	動物相の状況	6-45
6.11	陸域生態系(地域を特徴づける注目種)	6-65
6.11.1	ミサゴ、シロチドリの生息・繁殖状況	6-65
6.11.2	オカヤドカリ類・オカガニ類の移動	6-69
第7章 事後調査の結果と環境影響評価の結果との比較検討の結果		
7.1	ウミガメ類	7-1
7.1.1	ウミガメ類の工事海域への来遊（接近）状況	7-1
7.2	サンゴ類	7-1
7.2.1	サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等	7-1
7.3	海藻草類	7-19
7.3.1	海藻草類の生育被度、生育状況	7-19
7.4	ジュゴン	7-28
7.4.1	ジュゴンの工事海域への来遊（接近）状況	7-28
7.4.2	嘉陽周辺海域及び他の生息海域におけるジュゴンの生息状況	7-28
7.5	海域生物（トカゲハゼ）	7-32
7.6	陸域動物（陸生動物）	7-33
7.7	陸域生態系(基盤環境、生態系の機能と構造)	7-34
7.7.1	動物相の状況	7-34
7.8	陸域生態系(地域を特徴づける注目種)	7-52
7.8.1	ミサゴ、シロチドリの生息・繁殖状況	7-52
第8章 事後調査の結果により必要となった環境の保全のための措置		
第9章 対象事業に係る環境影響の総合的な評価		

第 10 章 事後調査の全部又は一部を委託された者の名称、 代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	10-1
---	------

資料編